



5 バリュースセット株式会社
代表取締役 斉藤彰一

いつもお世話になっております。

この10月で私はいよいよ59歳となります。というのも私の父が59歳で亡くなっていますので、以前からこの年齢は気になっていたという次第です。実際にこの年になってみると、何だか不思議な感じでもあります。

今から29年前、私が30歳になった10月に私は結婚をし、その2か月後に父は他界しました。当時は何もかもがバタバタだったのを憶えています。

父は私と違って手先が器用で、気の優しい（怒ると怖かったですが）職人でした。ブロック塀などを請け負うブロック屋を営み、祖父の借金を抱えながら、祖父、祖母、母と私の4人を扶養していました。

私は一人っ子でしたので、トランプ、花札、将棋などの遊び方やルールはすべて父から習い、よく父に遊んでもらっていました。

私が小学校の高学年の頃からは、夏休みに父がブロック塀を造るのをよく手伝っておりました。いくつかの水筒のお茶と弁当を持ち、必要なブロックをトラックに積んで現場に行き、セメントを作ってブロックを積み上げていく...、長い時は朝から夕方までやるわけですが、それは子供ながらに大変な作業でありましたし、上手にブロック塀を造りあげる父には憧れてもおりました。

工事現場で汗を流して働いておられる方々を見かけるたびに、今でも父を思い出します。

私は家業を継がず、大学を卒業してずっと金融業界で働いています。

父とは業種が違いますので、仕事面で父の影響など何も受けてないように若い頃は考えておりましたが、年々そうでもないと思うようになりました。

父よりも長く人生を歩めることに感謝したいと思います。そして限りある時間ではありますが、ウェルスマネジメントでお客様に尽くしてまいりたいと思います。

今後とも当社の債券ビジネスをよろしくお願いいたします。

2025年11月17日

本書の内容は、当社代表取締役 斉藤彰一が日頃感じたこと等を率直にお伝えさせていただくものです。
当社が示す正式な評価、意見等を必ずしも反映していない場合がありますので、ご了承ください。